

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	中国語演習		
英文授業科目名	Intermediate Chinese		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	鷲巣 益美（学内連絡教官 湯川 敬弘）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
会話主体のテキストを使い、基本的な文法を再確認したうえで、より多くの構文や言い回しを身につけるようにする。実際に中国へ行ったときに中国語で自分の意志を最低限伝えることができるよう、言い換え練習や置き換え練習を重点的に行う。

【前もって履修しておくべき科目】
中国語第一、中国語第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
教科書：『北京の明子』白帝社 辞書：『中日辞典（第2版）』小学館、『クラウン中日辞典』三省堂 電子辞書も可（但し収録されているのは全て小学館『中日辞典』の旧版）。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

基本的には1コマで2ページ進める。教科書の内容を理解したうえで、聞き取りや置き換え練習を行う。文法でよくわからないところは、些細なことでも構わないから積極的に質問してほしい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

全授業回数の三分の二以上出席していれば定期試験を受験することができる。定期試験の得点をもとに、出席状況や授業中の態度を参考に評価を下す。指名されても全く答えられなければ、一回につき試験の点数から3点差し引く。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日の12:30から13:00は、非常勤講師控え室にいる。14:30頃からは教室にいる。それ以外の場所と方法については相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

ピンインを正しく読み書きできるようになることが、中国語マスターへの第一歩である。発音の仕方の法則は英語よりも明瞭なはずなので、「ピンイン」という峠を越えてしまえば(その高さは個人差がある)ぐんと伸びるだろう。簡体字を正確に書くよう心がけることは言うまでもない。

【その他】